人間環境学とは
About Human-Environment Studies

研究院長・学府長メッセージ
沿革
理念・目標
教育方針（ポリシー）
- 養成する人材像（ディプロマポリシー）
- 教育課程の目的
- 教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）
- 入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）

組織
特色ある教育・研究
国際交流

養成する人材像（ディプロマポリシー）

人間環境学府は、九州大学のみならず我が国の大学における既存の学問分野の枠組みを超えた形で、新しい学問の創造をめざし、以下のような人材を養成します。

- 各専門分野ですぐれた研究を行い、わが国の学術研究の発展に貢献する人
- 人間環境学という学際的視点をもった研究者及び高度専門職業人

以下には専攻（コース）ごとの養成する人材像を示します。

» 都市共生デザイン専攻
» 人間共生システム専攻
» 行動システム専攻
» 教育システム専攻
» 空間システム専攻
» 実践臨床心理学専攻（専門職学位課程）

都市共生デザイン専攻

修士課程

アーバンデザイン学コース（学位プログラム：アーバンデザイン学（修士））

本プログラムにおける学位取得には以下の点が求められる。

- 都市問題を解決し，快適で安全な都市空間を計画・設計する方法をアーバンデザイン学的に説明できる。
- 多様な空間を計画・設計するための理論と方法について説明ができる。
- 持続的な都市・コミュニティ・生活を設計する方法について説明ができる。
- 専門知識・技術を活用し，分析・企画から計画・デザインまで纏め上げる力を身につける。
- 安全で快適な都市空間を実現する技術に関する知識を身につける。
- 専門分野の内容の深い理解と，学問固有の思考を獲得する。
- 表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力）とコミュニケーション能力（討論能力，他分野を理解する能力，語学）を鍛え，広く世界と交流する視点を養う。
- アーバンデザイン学における専門家としての倫理感を身につける。
- 課題を自ら発見し，客観的な分析と独自の構想を通じてその解決を提案し，実現に向けてリーダーシップを発揮できる。

都市災害管理学コース（学位プログラム：都市災害管理学（修士））

本プログラムにおける学位取得には以下の点が求められる。

- 地震や台風などの現象、ならびにその破壊力と都市・建築の脆弱性の関係から発災メカニズムを理解し、説明できる。
- 災害情報の多角的な分析から、防災・減災から復旧・復興に至る都市災害管理学の理念を説明できる。

- 自然災害の問題に対して、工学的発想に基づいて対処でき、災害予測、危機管理、都市の基本的安全システムの構築に関する適切な提案ができる。
- 都市災害管理学に関わる様々な分野に関する教養、見識、知識・技術を総合的に把握できる。
- 情報科学の基礎な能力と十分な表現能力とコミュニケーション能力を習得し、広く世界と交流する視点を持つ。
- 課題の解決に対する積極性と解決に向けた周りとの協調性を持つ。
- 社会が要請する新たな都市・建築を自ら構想・創造できる。
- 都市災害管理学の発展を考えることができる。
- 継続的な自己研鑽能力を持つ。

持続都市建築システム国際コース（学位プログラム：持続都市建築システム学（修士））

- 建築・都市の持続化に関わる広い知識を有し，他領域との関係性から自らの専門領域を説明できる。
- 持続可能な建築・都市の実現のための方法や技術を説明できる。
- 建築・都市の持続化に関する広い知識を身につける。
- 持続的な建築・都市を計画・デザインするための専門的な理論と方法を身につける。
- 持続可能な建築・都市に関する高い専門知識を基に，個別課題に対して解決方法を立案できる。
- 表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力）とコミュニケーション能力（討論能力，他分野を理解する能力）を鍛え，他の領域と交流する視点を養う。
- 問題の中身をよく吟味し，それを解決するための方法を提示し，実行する能力を身に付ける。
- 地域社会・国際社会が要請する新たな持続的な建築・都市を，高い教養と見識に基づいて自ら構想し創造する。
- 建築・都市における専門家としての倫理感を身につける。

博士後期課程

都市共生デザインコース（学位プログラム：都市共生デザイン学（博士））

本プログラムにおける学位取得には以下の点が求められる。

- 都市共生デザイン学の各分野とこれらを横断する課題を発見し、客観的な分析と独自の構想に基づいて、課題解決のための理論と方法を総合的に説明できる。
- 高い教養と見識、都市・建築の幅広い知識・技術に加え、都市共生デザイン学に関する専門的能力のうち、自らが専攻し、研究を行う分野の高度な専門的能力を身につける。
- 専門的能力を自身の研究に生かし、自立した研究者として専門分野の発展に寄与できる。
- 高い表現能力、コミュニケーション能力、および広く世界と交流する視点を持つ。
- 課題の解決に対する積極性と解決に向けた周りとの協調性を持つと同時に、課題の解決の実現に向けたリーダーシップを発揮できる。
- 高度な専門家としての自覚と倫理観を持つ。
- 都市共生デザイン学に発展と社会への貢献を考えることができる。

持続都市建築システム国際コース（学位プログラム：持続都市建築システム学（博士））

本プログラムにおける学位取得には以下の点が求められる。

- 建築・都市の持続化に関わる広い知識を有し，自らの専門領域のみならず他領域との関係性も説明できる。
- 建築・都市の持続性を把握する方法と持続化を実現する技術に関する多面的な知識を身につける。
- 社会・経済・環境の総合的観点から，建築・都市の持続化の具体的な方策を提言できる能力を身につける。
- 持続可能な建築・都市に関する高い専門知識を基に，海外の各フィールドでの個別課題に対して実践的な解決方法を立案できる。
- 国際的な場における表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力）とコミュニケーション能力（討論能力，他分野を理解する能力）を鍛え，広く世界と交流する力を養う。
- 問題の中身を良く吟味し，それを解決するための方法を提示し，指導的立場から実行する能力，チームを運営する能力，後進を育成する能力を身に付ける。
- 国際的な場で外国人と協働できる国際力と同時にチームを統括する管理能力を備える。

人間共生システム専攻

修士課程

臨床心理学指導・研究コース（学位プログラム：臨床心理学（修士））

臨床心理学における基本的な知識、技能を習得し、主要な臨床心理現場で働くための臨床心理実践力の基礎を身につける。さらに、現在社会の抱えるさまざまな問題についての臨床心理学の基礎研究を遂行できる。

共生社会学コース（学位プログラム：共生社会学（修士））

プログラムを修了した学生は、以下のようなことが期待される。

- 共生社会学に特徴的な社会調査と実践を通して、独立した思考の技能、量的・質的調査や理論・実践における高度に専門的な技能を身につけること。
- 共生社会学の習得に基づき、研究に関連した職業を追求し、重要な地位を占めること。
- 広範な社会現象および特定の社会領域での記述法について説明ができる。
- 幅広い調査方法、またはそれらがどのように社会科学に応用されたのか説明ができる。
- 社会調査の姿勢に基づき様々な方法を正しく駆使し、さらにはその応用から実践への提言を行うことができる。
- 国内外の学会レベルで、正しく自分の考えを表現することができる。
- 社会科学の論理的思考能力を基盤に新たな社会現象および社会実践への活用ができる。
- 問題の中身を良く吟味し、それを解決するための方法を提示し、実行する能力、またはチームを運営する能力を身に付ける。

博士後期課程

臨床心理学指導・研究コース（学位プログラム：臨床心理学（博士））

臨床心理学における高度な知識・技能を習得し、臨床心理実践に関する教育・指導が可能である。さらに、現代社会の抱えるさまざまな問題について臨床心理学的視点からの分析が可能であり、臨床心理実践のために寄与する臨床心理学的研究を遂行できる。

共生社会学コース（学位プログラム：共生社会学（博士））

プログラムを修了した学生は、以下のようなことが期待される。

- 社会科学に特徴的な社会の分析を通して、独立した思考の技能、独立した思考の技能、量的・質的調査や理論・実践における国際的水準の専門的な技能を身につけること。
- 共生社会学の習得に基づき、研究に関連した職業を追求し、重要な地位を占め、指導的役割をはたすこと。
- 特定の社会科学の領域で、既存の方法論を超えた創造的な研究方法により、研究者として自立した研究活動ができる。
- 社会調査の姿勢に基づき様々な方法を正しく駆使し、さらにはその応用から実践への提言を行うことができる。
- 社会科学の論理的思考能力を基盤に新たな社会現象および社会実践への活用ができる。
- 広範な社会現象および特定の社会領域での記述法について説明ができる。
- 幅広い調査方法、またはそれらがどのように社会科学に応用されたのか説明ができる。

行動システム専攻

修士課程

心理学コース（学位プログラム：心理学（修士））

心理学コースでは、次の4つの知識と技能をもつ人材を育成することを目指している。4つの知識と技能とは（１）心理学と関連諸領域の背景理論に関する専門的知識、（２）人間行動や社会の様態を抽出できる情報収集能力とデータ分析の専門的技能、（３）オリジナルな発想力と既存の知識や理論に安住しない批判的思考力、（４）人間や社会の問題と個々の研究領域を接続できる広い視野、理論的素養、共同研究の遂行能力である。このような知識と技能を念頭に置き、学生は自由で柔軟な発想力・思考力に基づくオリジナルな研究を着想・提案し、適切なデータを収集し分析を行う。その上で、成果の発信手段としてのプレゼンテーション、ディスカッション、論文作成の技能を育む。このようなプロセスを学生自身の研究活動における時系列のもとで統合し、学生は本学位プログラムで身につけた知識や技能などを多様な職業背景や実生活に適用できるようになる。

健康・スポーツ科学コース（学位プログラム：健康・スポーツ科学（修士））

健康科学、スポーツ科学、身体運動科学にわたる基本的知識および技能を身につけ、現代社会における健康行動やスポーツ行動をめぐる諸問題に対して科学的かつ実践的にアプローチできる高度専門的な能力を獲得すること。

博士後期課程

心理学コース（学位プログラム：心理学（博士））

心理学コースでは、次の4つの知識と技能をもつ人材を育成することを目指している。4つの知識と技能とは（１）心理学と関連諸領域の背景理論に関する専門的知識、（２）人間行動や社会の様態を抽出できる情報収集能力とデータ分析の専門的技能、（３）オリジナルな発想力と既存の知識や理論に安住しない批判的思考力、（４）人間や社会の問題と個々の研究領域を接続できる広い視野、理論的素養、共同研究の遂行能力である。このような知識と技能を念頭に置き、学生は自由で柔軟な発想力・思考力に基づくオリジナルな研究を着想・提案し、適切なデータを収集し分析を行う。その上で、成果の発信手段としてのプレゼンテーション、ディスカッション、論文作成の技能を育む。このようなプロセスを学生自身の研究活動における時系列のもとで統合し、学生は本学位プログラムで身につけた知識や技能などを多様な職業背景や実生活に適用できるようになる。

健康・スポーツ科学コース（学位プログラム：健康・スポーツ科学（博士））

健康科学、スポーツ科学、身体運動科学に関するより専門性の高い知識および技能・研究方法を獲得し、それを土台に高等教育機関において自立して学術研究・教育に専念できるようになること。

教育システム専攻

修士課程

現代教育実践システムコース／総合人間形成コース（学位プログラム：教育学（修士））

プログラムを修了した学生は、以下のような知識・技能・態度を身に付けていること期待される。

(1) 教育科学の基礎的方法論を修得すると同時に、他学問領域との融合をはかる中で、学際科学として教育という事象を解明し、人間形成を基礎的かつ学際的、すなわち総合的視野において追究する知見を身につけること。

(2) 高度な専門知識や分析能力を修得することによって、研究を踏まえた高度専門職業人としてそれぞれの教育実践の改善をはかり、更なる活躍の場を拡げること。

博士後期課程

教育学コース（学位プログラム：教育学（博士））

プログラムを修了した学生は、以下のような知識・技能・態度を身に付けていることが期待される。

(1) 教育科学の基礎的方法論を修得すると同時に、他学問領域との融合をはかる中で、学際科学として教育という事象を解明し、人間形成を専門的かつ学際的、すなわち総合的視野において追究する知見を身につけること。

(2) 高度な専門知識や分析能力を修得することによって、研究を踏まえた高度専門職業人としてそれぞれの教育実践の改善をはかり、指導者としての役割を果たすこと。

(3) 教育についての基幹的研究のひとつに焦点を当て，教育研究について深遠な知識から説明が出来ること。

空間システム専攻

修士課程

建築計画学コース／建築環境学コース／建築構造学コース（学位プログラム：建築学（修士））

本プログラムでは、学生が建築と都市に関わる下記の能力を獲得することを目指す。

- 多様な空間について、次の視点で計画・設計・施工するための専門知識を習得し、その理論と方法について解説できる。
  -使いやすく魅力的で長く人々に愛される
  -快適・健康で省資源、省エネルギー
  -力学的合理性を持ち、災害時にも安全を確保できる
  -目的に応じた適切な材料と施工方法を選択する
- 予算や法律などの制約の中で、分析・企画から計画をまとめ、設計・施工を行い、持続的に保全・管理・修復するために、各分野の専門家となる。
- 情報科学を活用しながら、表現能力とコミュニケーション能力を鍛え、広く世界と交流する。
- 高い学習意欲を維持するとともに、専門家としての自覚と倫理観を持つ。
- 各分野の専門知識だけでなく、歴史、芸術、工学など自然科学や人文社会科学の知識も包括的に把握する。
- 課題を自ら発見し，客観的分析と論理的思考を通じて解決方法を構想し、実行するためのリーダーシップを発揮できる。

持続都市建築システム国際コース（学位プログラム：持続都市建築システム学（修士））

- 建築・都市の持続化に関わる広い知識を有し，他領域との関係性から自らの専門領域を説明できる。
- 持続可能な建築・都市の実現のための方法や技術を説明できる。
- 建築・都市の持続化に関する広い知識を身につける。
- 持続的な建築・都市を計画・デザインするための専門的な理論と方法を身につける。

- 持続可能な建築・都市に関する高い専門知識を基に，個別課題に対して解決方法を立案できる。
- 表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力）とコミュニケーション能力（討論能力，他分野を理解する能力）を鍛え，他の領域と交流する視点を養う。
- 問題の中身をよく吟味し，それを解決するための方法を提示し，実行する能力を身に付ける。
- 地域社会・国際社会が要請する新たな持続的な建築・都市を，高い教養と見識に基づいて自ら構想し創造する。
- 建築・都市における専門家としての倫理感を身につける。

博士後期課程

建築計画学コース／建築環境学コース／建築構造学コース（学位プログラム：建築学（博士））

本プログラムでは、学生が建築と都市に関わる下記の能力を獲得することを目指す。

- 多様な空間について、次の視点で計画・設計・施工するための専門知識を習得し、その理論と方法について解説できる。
  -使いやすく魅力的で長く人々に愛される
  -快適・健康で省資源、省エネルギー
  -力学的合理性を持ち、災害時にも安全を確保できる
  -目的に応じた適切な材料と施工方法を選択する
- 予算や法律などの制約の中で、分析・企画から計画をまとめ、設計・施工を行い、持続的に保全・管理・修復するために、各分野の専門家となる。
- 情報科学を活用しながら、表現能力とコミュニケーション能力を鍛え、広く世界と交流する。
- 高い学習意欲を維持するとともに、研究者や専門家としての自覚と倫理観を持つ。
- 各分野の専門知識だけでなく、歴史、芸術、工学など自然科学や人文社会科学の知識も包括的に把握する。
- 課題を自ら発見し，客観的分析と論理的思考を通じて解決方法を構想し、実行するためのリーダーシップを発揮できる。
- 身につけた建築学に関する専門的能力を自身の研究遂行に活かし，自立した研究者として専門分野の発展に寄与できる。

持続都市建築システム国際コース（学位プログラム：持続都市建築システム学（博士））

本プログラムにおける学位取得には以下の点が求められる。

- 建築・都市の持続化に関わる広い知識を有し，自らの専門領域のみならず他領域との関係性をも説明できる。
- 建築・都市の持続性を把握する方法と持続化を実現する技術に関する多面的な知識を身につける。
- 社会・経済・環境の総合的観点から，建築・都市の持続化の具体的な方策を提言できる能力を身につける。
- 持続可能な建築・都市に関する高い専門知識を基に，海外の各フィールドでの個別課題に対して実践的な解決方法を立案できる。
- 国際的な場における表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力）とコミュニケーション能力（討論能力，他分野を理解する能力）を鍛え，広く世界と交流する力を養う。
- 問題の中身を良く吟味し，それを解決するための方法を提示し，指導的立場から実行する能力，チームを運営する能力，後進を育成する能力を身に付ける。
- 国際的な場で外国人と協働できる国際力と同時にチームを統括する管理能力を備える。

実践臨床心理学専攻(専門職学位課程)

（学位プログラム：実践臨床心理学（専門職））

医療・教育・福祉・司法など多岐にわたる臨床心理現場に即応することができる臨床心理実践力を身につける。また、生涯発達における様々な心理的援助活動レベルでの対応や、個別・集団レベル、ネットワーク・システムレベルなどいろいろな心理援助の介入レベルでの活動、さらに地域及び他分野に根ざしたコラボレーションを行うことができる。

へページの先頭へ

ホーム | 学府（大学院教育） | **人間環境学とは** | 研究院（研究） | 学部・関連施設 | 交通案内 | お問い合わせ | サイトマップ | English | 九州大学サイトへ

Copyright © 2010 Graduate School of Human-Environment Studies, Kyushu University. All rights reserved.